

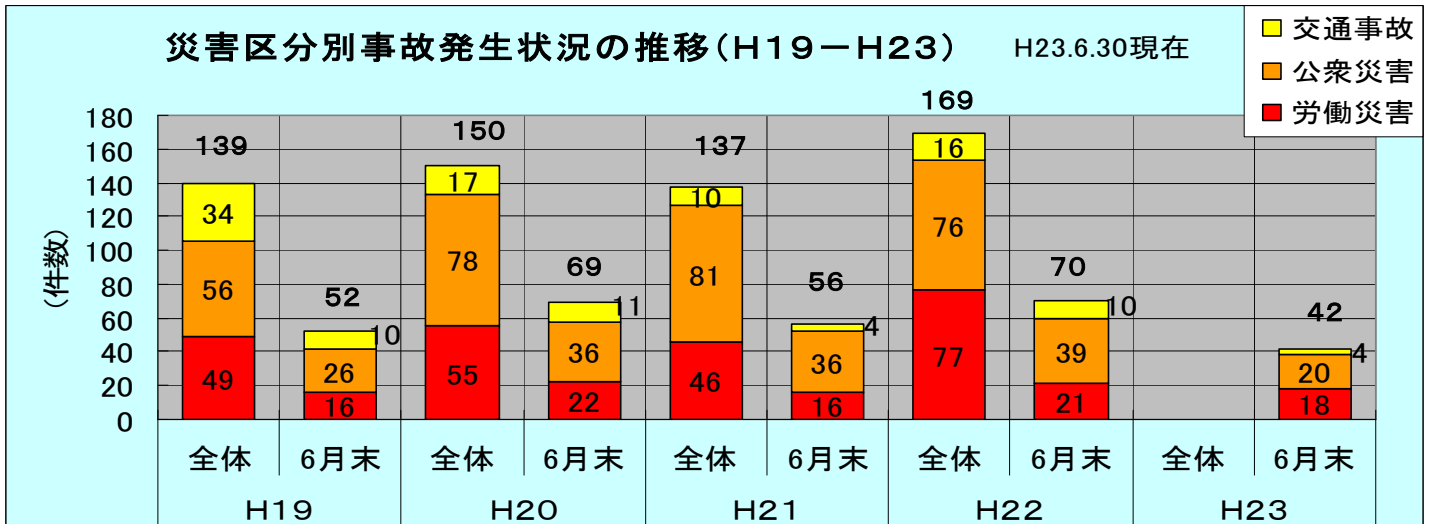
平成23年 1月－6月の事故発生状況（速報）

（第1四半期－第2四半期） （北陸地方整備局発注の直轄工事）

- ☆ 事故件数は、第2四半期で、42件発生。（過去5年で最小） ☆
- ☆ 労働災害が18件発生（昨年に迫る状況） ☆
- ☆ 労働災害に占める休業4日以上の割合が、半数を超えている。 ☆
- ☆ 夏に向け、熱中症対策の徹底を！ ☆

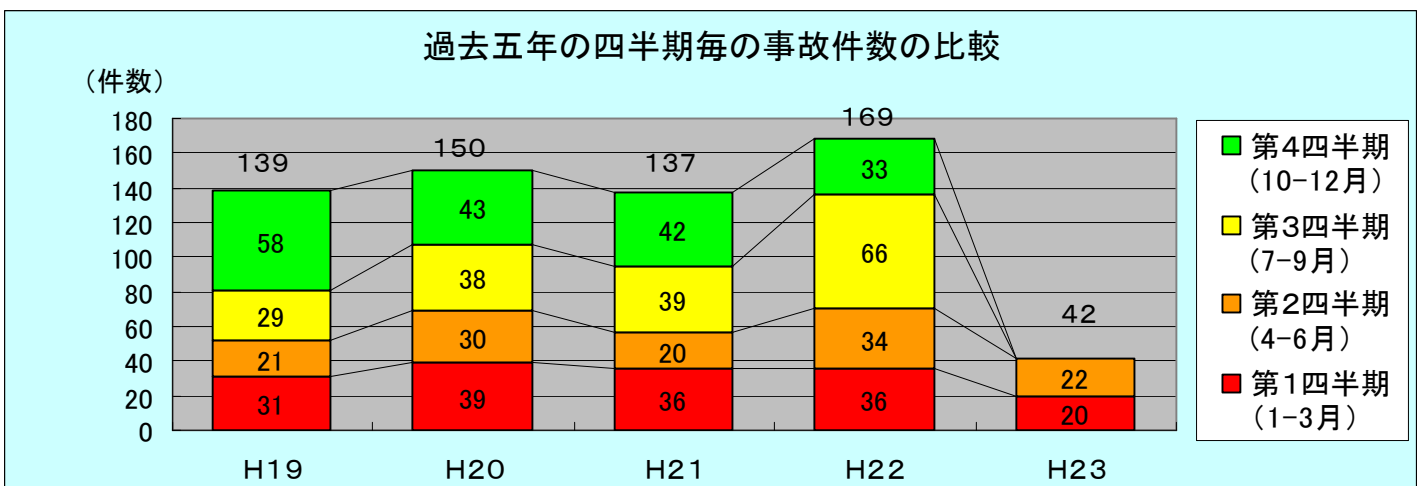
1. 工事事務速報の件数

第2四半期で、42件発生件数で、過去5年で最小です。



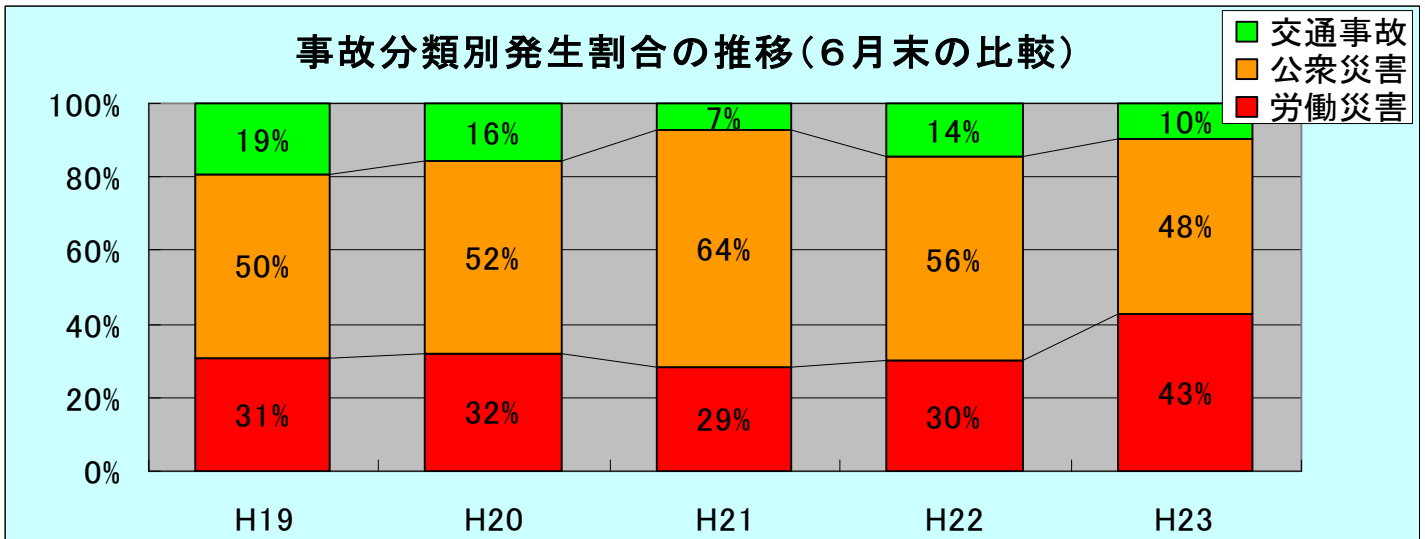
2. 各年度の四半期毎の事故件数の推移

昨年の事故発生状況は、第3四半期（7月－9月）に、熱中症が多く発生しました。今年は、予防対策を徹底し、十分に注意しましょう。



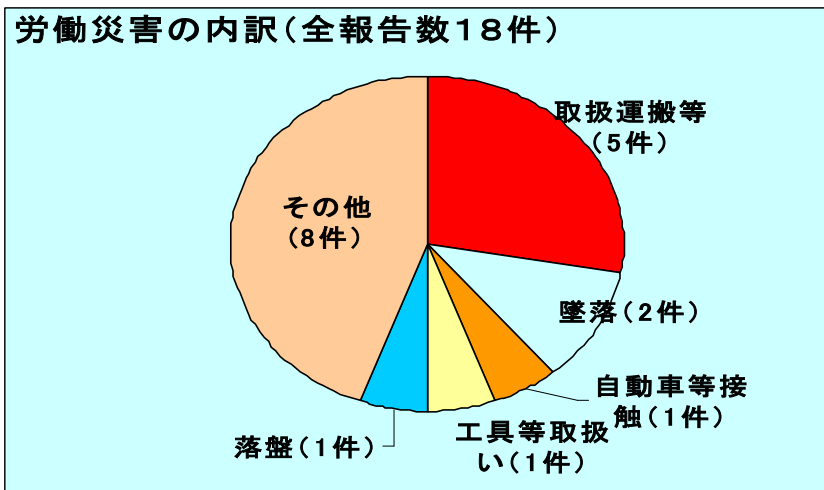
3. 事故分類別発生割合の推移（各年とも6月末データによる）

平成23年の1月～6月時点では、労働災害が既に18件発生しており、例年と異なり、労働災害の占める率が高い状況にあります。



4. 公衆災害、労働災害の事故状況

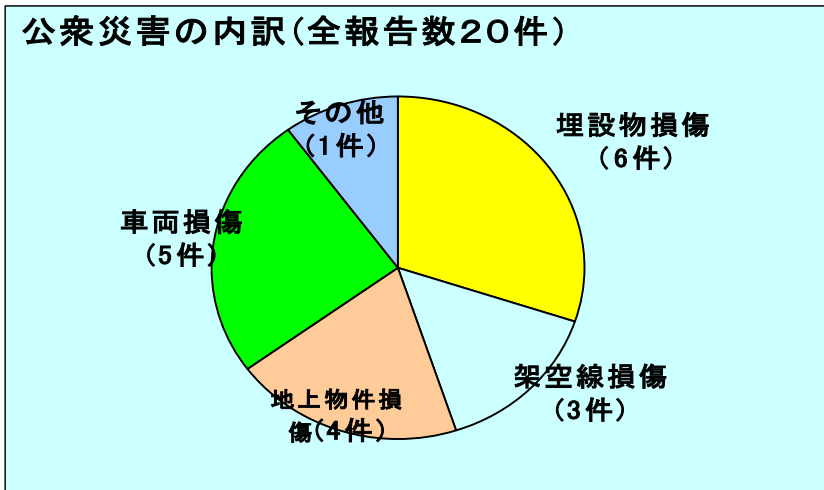
労働災害の内訳（全報告数18件）



1) 労働災害

6月までの労働災害の内訳は、取り扱い運搬・墜落に起因する事故が多く発生しています。

公衆災害の内訳（全報告数20件）



2) 公衆災害

公衆災害では、埋設物の損傷事故が、1/3を占めている状況です。

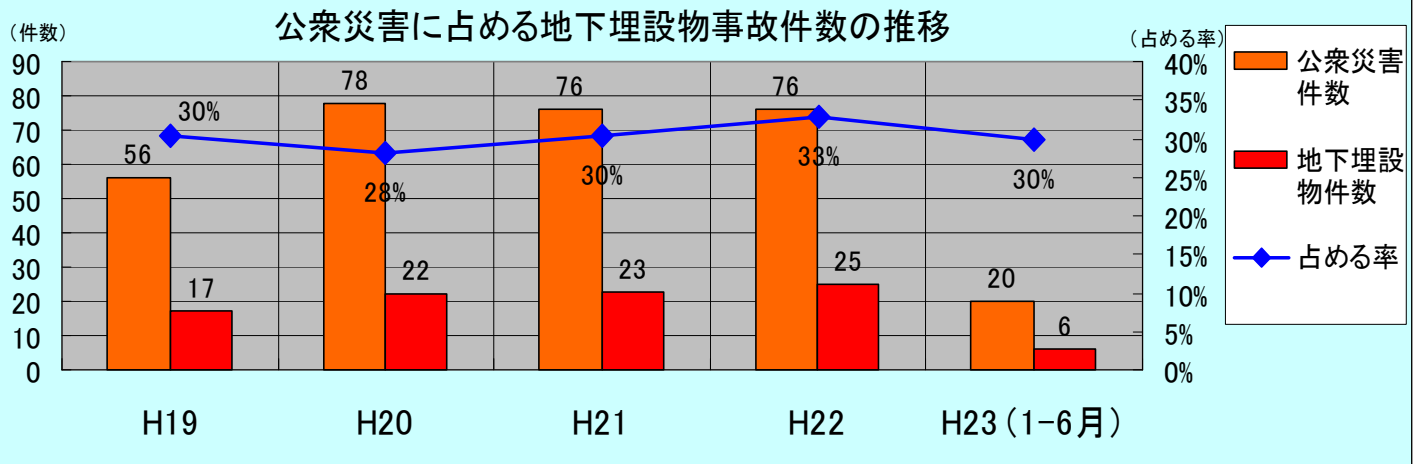
相変わらず、公衆災害のトップを占めています。

5. 地下埋設物事故の防止について

地下埋設物損傷の事故が、例年多く発生しています。昨年も、公衆災害の76件中25件が埋設物損傷事故で全体の33%を占める状況でした。今年も既に6件の埋設物事故が発生しています。地下埋設物に十分注意しましょう。

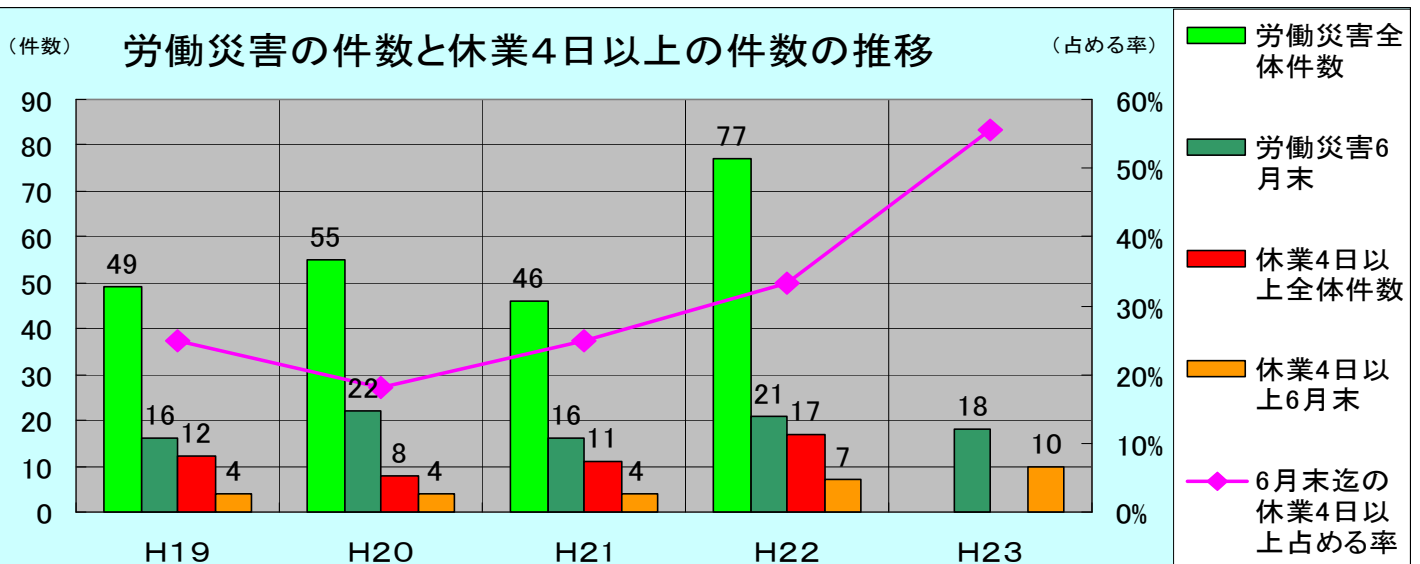
埋設物事故防止ポイント

- ①埋設物の事前調査の徹底。
 - ・施工前に、占用台帳等により埋設物の位置を確認すること。
- ②試掘・掘削施工時の施設管理者の立会。
 - ・掘削・試掘を行う際には、施設管理者等の立会を求め正確な位置の確認を行うこと。
- ③慎重な施工の徹底
 - ・埋設物付近の掘削については、手堀等による慎重な施工を行うこと。



6. 休業4日以上 の事故件数の発生状況

休業4日以上 の事故件数は、既に10件発生、労働災害に占める割合も、半数（56%）を越え、過去に無く高い率となっています。重大事故が多く発生しています。安全管理の徹底が必要です。



7. 熱中症対策の徹底を！

「熱中症における安全対策の徹底について」、が平成23年6月30日に発出されております。熱中症対策を徹底し、熱中症を予防しましょう。

熱中症に注意!!

○ 熱中症予防対策の徹底を!!

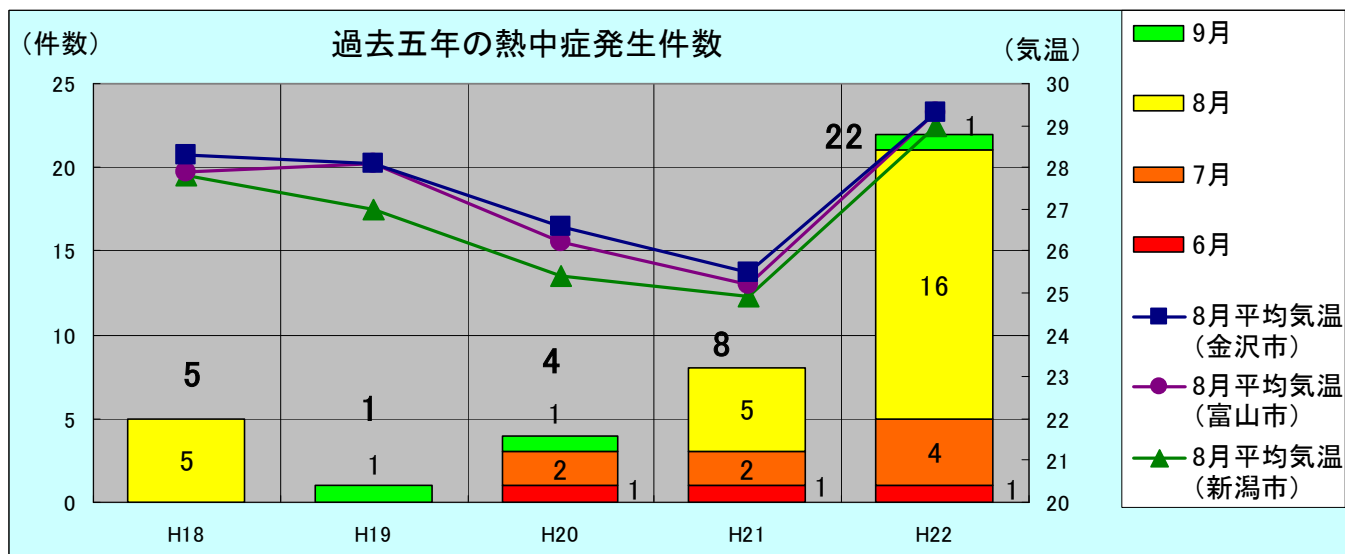
平成22年は、地整管内で22件の熱中症が発生しました。
天候や場所にかかわらず、気温・湿度により熱中症の危険があります。熱中症が発生しないよう、予防対策を徹底しましょう。

○ 暑さ指数（WBGT値）の活用

熱中症予防対策には、暑さ指数（WBGT値）の活用が重要です。労働局の熱中症予防サイトを参考にしてください。<<http://www.mhlw.go.jp/houdou/2009/06/dl/h0616-1b.pdf>>

○ 熱中症予防情報サイト

熱中症予防情報サイトに各地の「現在の暑さ指数」と「今後の暑さ指数の予報」があるので熱中症予防対策の参考にしてください。 <<http://www.nies.go.jp/health/HeatStroke/>>



建設工事事故データベースへの登録を忘れずに

建設工事事故データベースへの登録(入力)を忘れずにお願いします。

請負者、発注者は必ずインターネットを利用して登録(入力)して下さい。

建設工事事故データベースは、各地方整備局、都道府県、政令指定都市、公団が発注した公共工事のうち、一定規模以上の事故が発生した工事について、事故報告をインターネットを利用してデータベースに入力するものです。

データベースを「建設工事事故データベース」もしくは「SAS(Safety Analysis System)」と呼び、管理業務はSASセンターが行っています。

登録(入力)は、SASセンターのホームページから

URL <http://sas.ejcm.or.jp/>